

中国地方整備局 松江国道事務所

京都市から下関市を結ぶ一般国道 9 号は、山陰地方の東西を連絡する大動脈として、地域の産業・社会活動や住民生活に大きな役割を果たしています。一般国道 9 号のうち、島根県大田市の区間においては、急カーブや急勾配が連続し交通事故が多発しており、代替路線がないことから、交通事故や災害等の発生時には、地域の生活・経済活動に多大な支障をきたしている状況でした。

[illegible]

至 松江

主仁摩邑南線

仁摩・石見登山IC

仁摩・通泉快速道路

至 田代

▼写真④
五十猛町地頭所
嘉庭地区から
西を望む



▼写真②
静間町垂水地区から
西を望む



▲写真①
大田中央・三瓶山IC
から西を望む

2. 開通記念イベントや開通式典等の開催

大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通に先立ち、2月24日（土）に出雲・江津間高規格道路記念事業実行委員会が主催となり、地元の方や民間企業等の多数の方々の協力により、本線上及び道の駅「ごいせ仁摩」において開通記念プレイイベントが開催されました。

本線上では、ウォーキング、サイクリング、マラソンが行われ、約1,400人が参加しました。道の駅「ごいせ仁摩」のイベントでは、ゆるキャラが集合し開会セレモニーが行われ、神楽やダンス、和太鼓等の演奏がステージで行われるとともに、地元特産品を使用した飲食店や企業ブース、働く車展示コーナー等による事業PRもあり、沿線住民の方々等、約2,200人が参加し、事業の必要性を知っていただくとともに、開通への期待感を高めていただきました。



ウォーキング



サイクリング



マラソン

▲開通記念プレイイベント（本線）



ステージイベント



働く車展示



▲開通記念プレイイベント（道の駅）

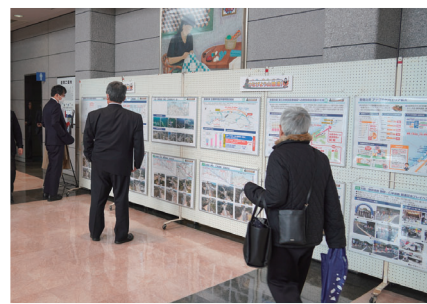
開通式典当日の3月9日（土）には、堂故国土交通副大臣、関係国会議員、島根県知事、大田市長をはじめ、約270人が式典会場の大田市民会館に参列し開通式典が執り行われました。その後、祝賀行事会場の大田静間ICへ移動し、テープカット・くす玉開披・風船奉天が行われ、車両約40台による記念パレードを執り行い、同日17時に一般開放しました。



▲堂故 国土交通副大臣による挨拶



▲テープカット・くす玉開披

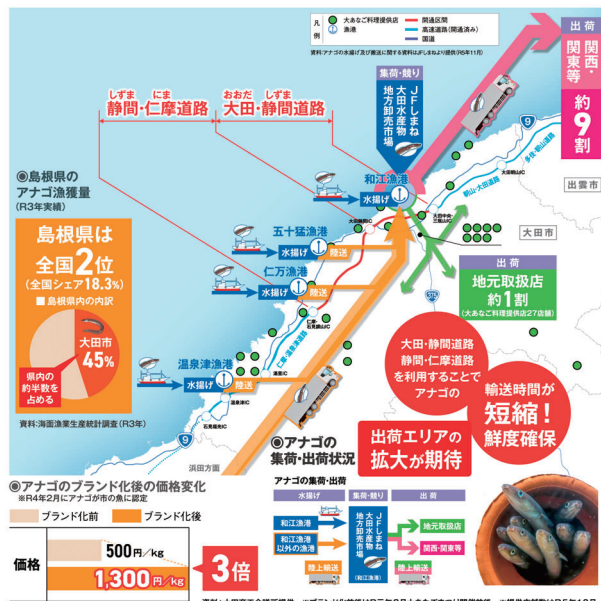


3. 開通による整備効果

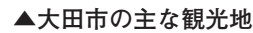
大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通により、安全で信頼性の高い道路網が構築され、人流、物流、産業、観光等の様々な分野での交流活性化が期待されています。

大田市には第三次救急医療機関がないことから、重篤疾患の患者等は出雲市中心部に搬送する必要があります。大田・静間道路及び静間・仁摩道路を利用することで、救急患者を迅速かつ安静に搬送することができ、救急医療活動の支援が期待されます。

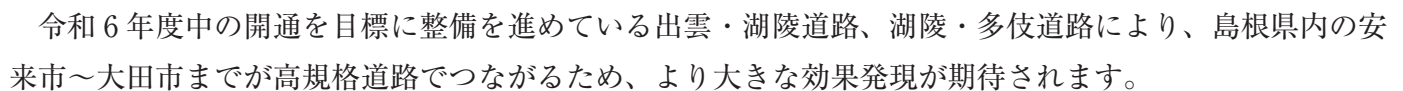
また、大田市のアナゴ漁獲量は全国有数であり、約 9 割が関西・関東等の遠方に陸送により出荷されており、大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通により、輸送時間が短縮されることで、アナゴの鮮度確保や出荷エリアの拡大が期待されます。



地元住民や地域の関係者からも、大田・静岡道路、
静岡・仁摩道路開通による効果への期待が寄せられています。



地元住民や地域の関係者からも、大田・静岡道路、
静岡・仁摩道路開通による効果への期待が寄せられています。



大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通により、山陰地方における交流・連携がさらに活発化し、地域の活力が増進することを期待するとともに、松江国道事務所では、引き続き、出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路などの整備促進に努め、島根県東部地域の更なる発展や地域の安全・安心の確保、災害に強い地域づくりに全力で取り組んで参ります。

